

令和 4 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	小学校GIGAスクール運営事業	会計名称	一般会計		担当課	学校教育課	
		予算科目	10 款 2 項 2 目	事業番号	4341	所属長名	窪田春樹
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	福岡富美子	
法令根拠等	新学習指導要領、公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備補助金、公立学校情報機器整備費補助金、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				実施期間	【開始】	令和/平成 4 年度
総合計画での位置付け	生涯学習都市の創造 学校教育環境の整備・充実					【終了】	令和 年度(予定) ■ 設定なし
総合計画における本事業の役割	心豊かで創造力がある、未来を担う子どもの育成に寄与する。						
事業の対象	市立小学校			事業の目的	新学習指導要領において、情報活用能力は「学習の基盤となる資質・能力」と位置付けられ、「ネットワーク等の情報手段を活用する環境が必修化される等、令和のスタンダードとして、多様な子供たちを誰一人取り残すことのない、公平に個別最適化された学びを持続的に実現させるため、ICT環境の整備運用を目的とする。		
事業の内容 (整備内容)	【校内無線LAN整備】及び【一人一台端末整備】が完了し、先生及び生徒の活用について、安定運用及び支援を行なうため、必要に応じての修繕やICT支援員による授業支援等、誰一人取り残すことのない、公平に個別最適化された学びを持続的に行う。			昨年度の課題に対する具体的な改善策			

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	4年度予定	9月末の実績	4年度実績
直接事業費	0	23,464	0	0	0	23,266	学習ソフトのログイン回数 が35回以上	回	-	35	37	90
国庫支出金	0	0	18,000	0	0	17,934						
県支出金	0	0	0	0	0	0						
地方債	0	0	0	0	0	0						
その他	0	0	0	0	0	66						
一般財源	0	23,464	△ 18,000	0	0	5,266						
職員の人工(にんく)数	0.00	0.10				0.10						
1人工当たりの人件費単価	0	7,794				7,794						
※ 直接事業費+人件費	0	24,243				24,045						
主な実施主体	直接雇用(会計年度職員1人)・委託		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、リース料、通信費、委託料								
向こう5年間の直接事業費の推移(千円)					5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	5年間の合計		
					25,000	25,000	275,000	25,000	25,000	375,000		
成果指標	指標	児童1人あたりのタブレット搭載学習ソフトのログイン回数	単位	回	⇒	区分年度	前年度	4年度	5年度	目標	毎年度	
	指標設定の考え方	タブレット搭載学習ソフトのログイン回数/児童登録数により、児童1人あたりのログイン回数を35回以上を目標とする。(1年間の標準授業時数において、週に1回学習すると計算した場合の一年間の時数が35週となるため。(小1は34週。))		目標		-	35	35	35			
	指標で表せない効果	新年度の忙しさによる4月の使用回数の少なさや、新1年生は1学期中に活用を開始する事が難しい事。他にも運動会シーズンなどを考えると、比較的高い頻度で使用されている。またタブレットは学習ソフト以外のソフトも使用しており、実際の活用実績はこれ以上である。		実績		-	90					

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。 ICTを活用した授業は、従来と大きく展開が異なり、教職員一人ひとりのスキルの格差が生じやすく、その事が学校間の格差にも発展しかねないため、広く普及・浸透させる必要がある。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断会議	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	